



いざというときのために

もしもの時に備えて、一人一人ができること、
みんなでできることをチェックしておきましょう。

事前対策01

家族との連絡方法

緊急時の連絡方法について事前に家族や親族と話し合っておきましょう。家族がそろっていない時に災害が発生することがあります。主な連絡手段としては「災害用伝言ダイヤル(171)」「災害用伝言板」があります。

171

災害用伝言ダイヤル「171」をダイヤルした後ガイダンスに従ってください。

事前対策
が大事!



事前対策02

避難所・避難場所を知る

家の近くの避難所・避難場所を確認しておきましょう。避難所までの経路がふさがっていたり、危険を伴う状況も考えられます。経路を複数設けておき、状況に応じて対応しましょう。

ここから
チェック!

指定緊急避難場所・
指定避難所



広域
避難場所



問 危機管理室(本庁舎3階)

☎ 963-9285



地震の揺れを感じたら…

緊急地震速報がなくても

あわてず、まず身の安全を!!

④ 緊急地震速報を見聞きしてから強い揺れがくるまでの時間は数十秒しかありません

家庭では…

- 頭を保護し、丈夫な机の下など安全な場所に避難する
- あわてて外へ飛び出さない
- 無理に火を消そうとしない



このほか、普段から、家屋の耐震化や家具の固定など、地震に備えておきましょう。

出典元:内閣官房ホームページ「もしも災害が起こったら…」より内容を抜粋し、編集・作成

事前対策03

自宅や室内のチェック

地震の発生に備えて、家の危険箇所を確認しておき、危ない箇所は修理や補強をしておきましょう。家具の配置変えなどで、転倒・転落を防ぐ工夫が必要です。



子どものいる家庭で気をつけること



家具類の上に落下すると危険なもの(ガラス製品)を置かないようにする。

避難の妨げになる位置に家具を配置しない。

子どもが過ごす部屋に倒れやすい家具を置かないようにする。

事前対策04

防災グッズを日頃から準備

避難する際には赤ちゃんを抱いて避難しなければなりません。実際に赤ちゃんを抱えて持てる量なのか、しっかり確認しておきましょう。また、両手が使えるようにリュックにつめておきましょう。



お母さん・赤ちゃん用必要グッズ

- 母子健康手帳、こども医療証、診察券
- 紙おむつ、お尻ふき(お尻ふきは、身体も拭ける)
- 授乳関連グッズ:授乳用ケープ、ミルク、哺乳瓶、調乳用の水(日頃の授乳方法にあわせて準備)
- 靴(子どもには靴をはかせるように)
- 着替え(肌着、長袖、長ズボン、防寒着)
- ガーゼ・ハンカチ
- 帽子(頭を守るもの)
- 普段使っている薬
- 使い慣れたおもちゃ
- 生理用品
- 抱っこ紐

非常用備蓄にプラスするのもgood!

- 飲料水7日分(1人1日3リットル、粉ミルク用も)
- こどもの食料7日分(月齢に合った好きなもの)
- ベビーフードはそのまま食べられる瓶や容器入りが便利
- 粉ミルク7日分
- オムツ&おしりふき7日分

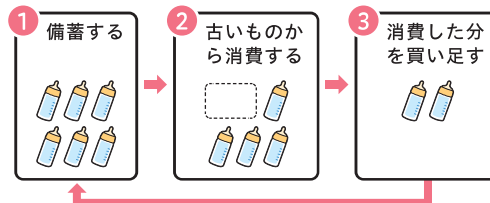
越谷市総合防災ガイドブックは
ここからチェック



いざというときのために

ローリングストックを知っていますか?

ミルクや離乳食を備蓄していても、賞味期限が切れていたら使うことができません。普段から消費(ローリング)しながら備蓄(ストック)する方法(ローリングストック)がおすすめです。最低3日分の備蓄を心がけましょう。





子どもの安全

子どもが万が一の犯罪に巻き込まれないよう、市では行政と地域が一体となって、防犯活動に取り組んでいます。ひとりひとりの防犯意識を高めていきましょう。

危険から子どもを守る！

防災行政無線

防災行政無線の定時放送は、4月～9月は午後5時30分、10月～3月は午後4時30分に放送しています。

※防災行政無線の放送内容は、Cityメールやホームページ、防災アプリ等から確認できます。

問 危機管理室 ☎963-9285



子ども110番タクシー

子どもや女性、高齢者などが緊急時にタクシーに助けを求めた場合、運転手が状況に応じて無線を利用して警察・消防署等に必要な連絡をします。

問 越谷警察署 ☎964-0110



子ども110番の家

登下校時などに、不審者に声をかけられたり、転んでけがをしたりした時に、近くに助けを求めて駆け込める民家があれば被害を最小限に抑えられるという考えから作られた制度です。右記の標示板が目印です。

問 PTA連合会事務局 ☎966-2100 (月・火・木・金曜 午前10～午後4時)

問 生涯学習課 ☎963-9283



安全なまちづくりを目指そう！

「自主防犯活動団体」 による 防犯パトロール活動



自治会・老人クラブ・PTA等による自主防犯活動として、子どもの登下校時の見守り活動や、夜間パトロール活動を行っています。また、小・中学校の下校時に、自主防犯活動団体と市職員協働で「青色防犯パトロール」を行っています。

問 くらし安心課 ☎963-9185



子どもと一緒に 約束しておきましょう

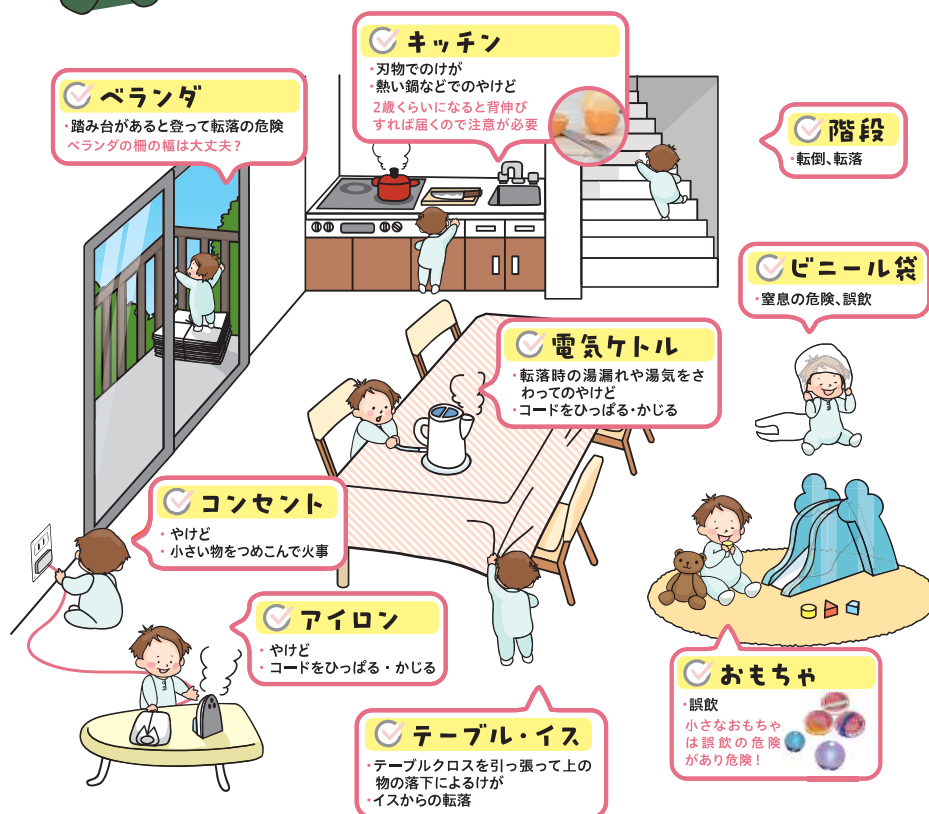
- ☑ ひとりにならない
- ☑ 知らない人についていかない
- ☑ 大きな声で助けを呼ぶ
- ☑ 何時に帰るのか話しておく
- ☑ 知らない車に近づかない



室内の危険ポイント



おうちの中には、子どもの興味を引く「危険」がたくさんあります。あてはまる場所や物の位置をしっかりと確認して、事故対策を家族で考えておきましょう。



いざというときのために

こんな時の対処法 頭を強く打った！

意識がない場合は頭を高くして寝かせ、耳や鼻から血などの液体が出ている場合は出ている方を下にして寝かせます。

その後すぐに救急車を呼びましょう。

※他にも、吐く・顔色が悪い・普段はかかないいびきをかくなど、異変が見られる場合はすぐに病院へ連れて行きましょう。

